

蟹江町議会総務民生常任委員会会議録

招集日時	平成22年9月6日(月)午前9時			
招集場所	蟹江町役場 3階 協議会室			
出席委員	委員長	山田 邦夫	副委員長	米野 秀雄
	委員	松本 正美	委員	高阪 康彦
	委員	林 英子	委員	中村 英子
	委員	菊地 久	委員	吉田 正昭
欠席委員	なし			
会議事件 説明のため出席した者	町長	横江 淳一	副町長	河瀬 広幸
	政策推進室長	伊藤 芳樹		
	総務部長	加藤 恒弘	総務課長	江上文啓
	民生部長	齋藤 仁	民生部次長兼高齢課長	佐藤 一夫
	子育て推進課長	鈴木 利彦		
	産業建設部長	水野 久夫	産業建設部長兼農政課長	西川 和彦
	教育長	石垣 武雄	教育部長	加賀 松利
	生涯学習課長	川合 保		
職務のため出席した者	議長	伊藤 正昇	議事局長	松岡 英雄
	補佐	橋本 浩之	書記	山田 尚徳
付託事件	議案第54号 表彰について 議案第56号 蟹江町野外活動センター設置及び管理に関する条例の廃止について			

○委員長 山田邦夫君

皆さん、おはようございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから総務民生常任委員会を開会します。

本委員会に付託されています案件は2件であります。慎重に審査をお願いしたいと思います。

審査に先立ち、町長よりごあいさつをお願いいたします。

○町長 横江淳一君

あいさつした。

○委員長 山田邦夫君

どうもありがとうございました。

これより議事に入りますが、質疑、答弁につきましては、努めて簡潔明瞭にされるようお願いいたします。

なお、議事の整理上、発言は委員長の許可を得てからにさせていただきようよろしくお願いいたします。

最初に、議案第54号「表彰について」を議題とします。

提案説明は済んでおりますが、補足説明はございますか。

（「ございません」の声あり）

それでは、補足説明がないようですので、直ちに質疑に入ります。

質疑はございませんか。

非常に関係者は大勢出席していただいておりますが、ありませんか。

（「ありません」の声あり）

それでは、質疑がないようですので、質疑を終結します。

これより討論に入ります。

先に原案に反対者の発言を許します。

（発言する声なし）

討論がないようですので、討論を終結して、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

ご異議なしと認めます。したがって、議案第54号「表彰について」は、原案のとおり決定いたしました。

ここで、次に議案に関する石垣教育長、加賀教育部長、生涯学習課長を除き、部長、次長、課長の退席を許可いたします。

大勢ですので、しばらく休憩といたします。

（午前 9時03分）

○委員長 山田邦夫君

休憩前に引き続き会議を開きます。

(午前 9時04分)

○委員長 山田邦夫君

次に、議案第56号「蟹江町野外活動センター設置及び管理に関する条例の廃止について」を議題とします。

提案説明は済んでおりますが、補足説明はございますか。

(「ございません」の声あり)

補足説明がないようですので、直ちに質疑に入ります。

質疑はございませんか。

○委員 林 英子君

この野外センターに私は去年、キャンプファイヤーも含めてお邪魔したんですが、本当にやっていらっしゃる方たちは楽しそうだし、リーダーの方たちも見たこともないようなすばらしいリーダーシップをとられて、お父さんやお母さん、そして子供たちが本当に楽しそうでしたが、解体することについてそういう方たちの意見は何か出たでしょうか。何も聞かれなかったのでしょうか。何か出たとすれば、存続してほしいとか、もうやめてもいいとかという意見だったのでしょうか、お聞かせください。

○教育部長 加賀松利君

キャンプに参加された方たちのご意見というのは聞いておりますけれども、やはりないよりはあったほうが良いということなんですけれども、いろんなキャンプに参加されている方たちも要望というか、質の内容がだんだん高くなっておりますけれども、やはり残してほしいというのが少しはありました。

○委員 林 英子君

そういう意見が出たことについて、この内容の詳しいことはともかくとして、今後、残すにはこうなる、壊すにはこうなるということをご存じでしょうか。残していくためにはこんなにお金がかかるんだということを話されて納得された部分もあるのでしょうか。

○生涯学習課長 川合 保君

実際のところ、アンケートというのは毎回、親子キャンプ等、事業のときにはとっております。アンケートの中で、今年度をもって廃止するということを知り、来年からやるに当たってはこの場所ではなくて、参加費等がもうこのぐらいの金額になりますけれども、どのぐらいの金額だったら参加できますかというところで、1万円、8,000円、6,000円というような形でアンケートのほうもとりましたところ、1万円までは払えない、8,000円、6,000円というところが非常に多くあったんですが、廃止するということについてはそういう形で、参加された時点でもう通知はしておりますし、存続についての金額、全協のほうでも示させ

ていただいたとおり6,500万円の改修費というのを必要としておりましたので、そちらのほうの話もしてあります。

以上であります。

○委員 林 英子君

この野外センターそのものはこれで、きょうの結果わかりませんが、なくなるとしまして、蟹江町はこういう野外センター的なものは今後どこかお借りしてやっていくとか、名古屋でしたら中津川のほうもありますけれども、蟹江としては今後そういう内容のものはどのようなことを考えていらっしゃるのか。まだこれからなのか、お聞かせください。

○生涯学習課長 川合 保君

同じような事業は一応計画したいということで探ってみたんですが、実際のところ、時期というものがあまして、親子キャンプにしますと夏休みに入ってすぐ今までやっていたわけですが、そういった時期にキャンプ場を押さえようとしてちょっと問い合わせをしてみました。3年後までしかとれないような状態で、キャンプを同じような形でするのはちょっと難しいのかなと。ほかの形でデイキャンプ等でやれないかなというふうに今考えております。

○委員長 山田邦夫君

ほかに質疑は。

○委員 松本正美君

今回、最後のキャンプが藤原で行われたわけなんですけれども、そこに私も参加させていただいたんですけれども、子供の皆さん、親御さんもそうですけれども、やはり今回廃止ということで、本当にこうした催し物がなくなるということは、本当にいかなんということ、またかわったものを、また別な形でつくっていただきたいという声を聞いたわけです。

今、林さんのほうからも質問があったわけなんですけど、今、課長のほうから言われたようになかなか見つからないという、そういうお話があったわけなんですけれども、これはやはりいろんな形を探してみれば、まだあると思うんですよね。だから、本当にこれから青少年の育成という面においては、非常に大事なポイントですので、やっぱり町当局のほうもしっかり探していただいて、次にかわるようなものを見つけていただきたいなと思いますので、よろしく願いいたします。

もし何かあればあれですけれども、なければいいです。

○委員長 山田邦夫君

要望でよろしいですか。

○委員 松本正美君

はい。

○委員長 山田邦夫君

ほかにございませんか。

(発言する声なし)

ほかに質疑がないようですので、以上で質疑を終結します。

これより討論に入ります。

先に原案に反対の発言を許します。

(「ありません」の声あり)

討論がないようですので、討論を終結して、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

ご異議なしと認めます。したがって、議案第56号「蟹江町野外活動センター設置及び管理に関する条例の廃止について」は、原案のとおり決定いたしました。

以上で本日付託されました案件はすべて終了しました。

なお、委員長報告の作成については、私にご一任願います。

これで総務民生常任委員会を閉会します。

ありがとうございました。

(午前 9時12分)

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

蟹江町議会総務民生常任委員長 山田邦夫